

第10回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

平成28年2月15日（月） 10:00～12:00

2. 場所

内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、片岡部会長代理、青木委員、折木委員、久保委員、白坂委員、鈴木委員、仁藤委員、山川委員

(2) 事務局

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、高見宇宙戦略室参事官、行松宇宙戦略室参事官、松井宇宙戦略室参事官、守山宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 宇宙基本計画工程表（平成27年度改訂）の決定について

平成27年12月8日に決定された宇宙基本計画工程表（平成27年度改訂）について、資料1に基づき、事務局より説明を行った。

(2) 平成27年度補正及び平成28年度当初の宇宙関係予算案について

平成27年度補正及び平成28年度当初の宇宙関係予算案について、資料2に基づき、事務局より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の質問があった。（以下、○質問、●事務局の回答）

○内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）のうち、宇宙関連の事業の割合はどの程度となるのか。

●事業数の観点では約半数であるが、金額の観点ではそれぞれ種々の要素が含まれており、単純には回答できない。

(3) 平成29年度に向けて検討すべき課題について

平成29年度に向けて検討すべき課題について、資料3に基づき、中須賀部会長より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の質問があった。（以下、○質問、●事務局等の回答）

○工程表番号6の即応型の小型衛星等について、平成28年度にその運用構想等について検討を行うとされているところ、現在の検討の進捗状況はどうか。

●現在進めている調査研究の結果を踏まえ、今後、議論をしていく予定である。

○工程表番号19の射場の在り方に関する検討の担当は宇宙産業・科学技術基盤部会となっているが、射場の抗たん性など、宇宙安全保障部会にも関係する議論も想定される。これを今後、どのように取り扱っていくのか。

●まずは宇宙産業・科学技術基盤部会において論点整理などを行い、その後、射場の抗たん

性等の検討の進め方について、調整してまいりたい。

(4) 宇宙政策委員会の今後の検討体制について

宇宙政策委員会の今後の検討体制について、資料4に基づき、事務局より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の意見があった。(以下、○意見)

○現在、安全保障を通じた産業化に係る期待も大きいところ、宇宙安全保障の議論の中でも、産業の話を含めていく必要がある。

以 上